

会 議 名	第 1 回港区相談ねっとシステムの設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和 7 年 1 月 2 0 日（月曜日）午前 11 時 20 分から午前 11 時 50 分まで
開催場所	オンライン会議
委 員	子ども家庭支援部長 中島 博子（委員長） 欠席 子ども家庭支援部子ども家庭支援センター所長 石原 輝章（副委員長） みなと保健所健康推進課長 土井 重典（委員） 子ども家庭支援部子ども政策課長 西川 杉菜（委員） 児童相談所児童相談課長 中島 由美子（委員）
事 務 局	子ども家庭支援センター子ども家庭サービス係
会議次第	1 開会 2 委員長・副委員長の選出について 3 選考委員会選考スケジュール（案）について 4 事業候補者募集要項（案）について 5 採点基準表（案）について 6 閉会
配付資料	資料 1 港区相談ねっとシステム設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料 2 港区相談ねっとシステム設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考委員会委員名簿 資料 3 選考委員会選考スケジュール（案） 資料 4 相談ねっとシステム設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者募集要項（案） 別紙 1 仕様書（案） 別紙 2 相談ねっとシステム設計・開発及び運用・保守業務委託事業候補者選考基準（案） 【様式 1】質問書 【様式 2】参加表明書兼参加資格審査申請書 【様式 3】共同事業体構成書 【様式 3－2】共同事業体協定書兼委任状 【様式 3－3】委任状 【様式 4】事業者概要及び業務実績 【様式 5】業務従事予定者の経歴及び専任性 【様式 6】業務従事予定者の配置計画及びスケジュール 【様式 7】企画提案書① 【様式 8】企画提案書② 【様式 9】企画提案書③

	【様式 10】企画提案書④ 【様式 11】プロポーザル参加辞退届 資料 5 採点基準表（一次審査）（案） 資料 5－2 採点基準表（二次審査）（案）
会議の内容	
事務局	【1 開会】 （事務局より開会の挨拶） （事務局より配布資料の確認） 【2 委員長・副委員長の選出について】 資料 1 第 5 条に、委員長は子ども家庭支援部長を充てることとし、委員長が副委員長を指名することとなっている。本日、委員長は不在だが、事前に石原委員を指名されている。本日の司会進行も副委員長が行う。
D 委員	【3 選考委員会選考スケジュール（案）について】 （事務局より資料 3 について説明） 各選考委員への採点書類及び応募書類発送日を 2 月 25 日から 2 月 21 日に変更してほしい。
事務局	企画提案書等の締切は 2 月 21 日正午のため、同日午後には各委員に書類を送付する。
D 委員	【4 事業候補者募集要項（案）について】 【5 事業候補者募集要項（案）について】 （事務局より資料 4、資料 5 について説明） 採点基準表（一次審査）について、見積額が事業規模上限額 80%未満で評価 5 とあるが、質の悪い事業者が高得点になってしまわないか。
事務局	他のプロポーザル案件を参考に、見積額が 90%未満で評価 5 とする形に調整する。
D 委員	2 次審査はパソコンによるプレゼンを可能としているが、書類審査とプレゼンでまったく異なる内容だった場合は、どのように取り扱うか。
事務局	公平性の観点から、パソコンによるプレゼンは実施しないこととし、選考基準を修正する。

D委員	企画提案書様式8は、個人情報の情報漏えいに対する取組に限定しているが、セキュリティ上の問題は他にもあるのではないか。
C委員	システム関連の仕様書には、プライバシーマークとかISOの認証が必要ではないのか。
事務局	様式8には、個人情報保護に加え、情報セキュリティに対する取組も記載する。また、仕様書には、プライバシーマーク等が必要な旨を追記する。
C委員	募集要項7（6）イの補足資料は、全体で10枚以内とあるが、片面か両面か。
事務局	募集要項には、片面10枚以内と明記する。
C委員	現在の相談ねっとシステムには、1日にどのくらい相談があるのか。
事務局	大人の相談ねっとは1日2件程度、子どもの相談ねっとは1週間に1件あるかないかの相談がある。
C委員	相談ねっとシステムは必要なのか。Excel等で管理できないのか。
事務局	相談ねっとシステムは、相談者からの相談や質問を24時間受け付けることができ、子ども家庭支援センターの開所時間に合わせて、専門の心理士または保健師が、原則2、3日で回答することとなっている。また、過去の対応履歴や、日々の件数等のデータを確認することができる。
C委員	理解した。
E委員	現在の相談ネットシステムには、「死にたい」とかキーワードが出てきたときに目立つようになっている。既存のシステムの良い機能は仕様書に残すなど考慮しているのか。
事務局	「死にたい」などアラート機能は実際入っていて確かに助かるところもあるが、余計なワードも拾ってしまう。相談件数も多くないので、絶対に必要という訳ではない。「地区」「お住まいのエリア」の表示や、いざちょっと心配な情報のときにつなげていけるような、ヒントになるようなところは機能として残しておいておくべきである。

E 委員	既存のシステムの仕様をきちんと検証した上で、新しい仕様書になっているのであればよい。新たに追加したい機能などあるのか。
事務局	現在の相談ねっとシステムはメールアドレスだけの登録になっているが、小学生対象のアンケートで「登録方法がわからない」といった意見もあったので、電話番号等を利用した登録方法も追加できないかと考えている。また、現在は「子どもの相談」と「大人の相談」でシステムが別になっているので、新システムは一つにまとめる。
副委員長	第二次審査に進む第一次審査合格者を 3 者程度決定するとあるがよろしいか。また、二次審査のプレゼンテーションの時間配分は、説明 10 分、質疑 20 分程度でよろしいか。
全委員	(異議なし) 【5 閉会】 (副委員長より閉会の挨拶)